

事務事業名	文化施設大規模改修事業	所属部	教育委員会	所属課	社会教育課スポーツ文化振興室
政策名	〈Ⅳ〉ふるさとを学び育つまち〈教育・文化〉	所属G	スポーツ文化振興G	課長名	藤原 典裕
施策名	〈31〉地域文化の振興	担当者名	永瀬 玉緒	電話番号	0854-40-1073
目的・対象	市民	意図	地域文化を正しく理解し、文化財の保護と活用に努めるとともに、文化芸術に親しみ創造する。	(内線)	2241
基本事業	〈091〉文化芸術の振興	予算科目	会計 款 大事業 大事業 0:1 5 0:0:2 項 目 中事業 中事業 2:5 1 0:0:4 業 業	社会教育施設整備事業	文化施設大規模改修事業

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
① 市民 ② 市外の人	市民が文化芸術活動に親しむ機会を拡充するため、文化施設を適切に維持していくための修繕を実施する
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 ☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返(R5 年度～) ☐ 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	老朽化が著しい文化施設(加茂文化ホール・木次経済文化会館・古代鉄歌謡館)の大規模改修を計画的・効率的に実施する。 ・加茂文化ホール H7.3月建築 ・木次経済文化会館 H4.5月建築 ・古代鉄歌謡館 H3.9月建築
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R5年度実績(R5年度に行った主な活動)	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)
①大規模改修工事契約業務 ②大規模改修工事工程管理 ③協議・指導業務	市内にある3つの文化施設はいずれも築25年以上を経過し老朽化が著しく、近年、故障が多発していた。また、耐用年数を超えた機器や交換部品等がないものも多く、大規模改修が必要である。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (実績)	R6年度 (計画)
ア 文化施設(3施設)利用者数	人			52,469	51,000
イ 文化芸術に親しんでいる市民の割合	%			40.9	50.0
ウ 業務委託件数	件			1	1
エ 工事件数	件			1	3

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R5年度決算)	② コストの推移	単位	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(決算)	R6年度(計画)
事業委託 4,488千円 工事請負費 136,646千円	国庫支出金	千円				84,000
【財源】 過疎債 4,400千円／合併特例債 129,200千円 大規模事業等基金繰入金 7,400千円	県支出金	千円				
	地方債	千円			133,600	428,000
	その他	千円			7,400	
※令和5年度より大規模改修を「文化施設修繕事業」より分離	一般財源	千円			134	16
	事業費計	千円	0	0	141,134	512,016

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	【令和5年度実施内容】 ラメール／舞台設備改修設計業務委託 チェリヴァホール／設備改修工事(舞台音響設備)
② 事業実施するうえでの課題	令和5年度をもってチェリヴァホールの大規模改修事業が完了した。 令和6年度よりラメールの大規模改修事業を実施する。 古代鉄歌謡館も空調機器などの不具合が発生しており、大規模改修の時期・手法等の検討が必要。
③ 課題解決に向けた改革改善等	大規模改修の内容について、市民への情報提供を充実させる。 大規模改修の係る経費について、随時、見直しを行い、縮減を図る。